

sf9 簡易說明書

2018.2 wnc develop

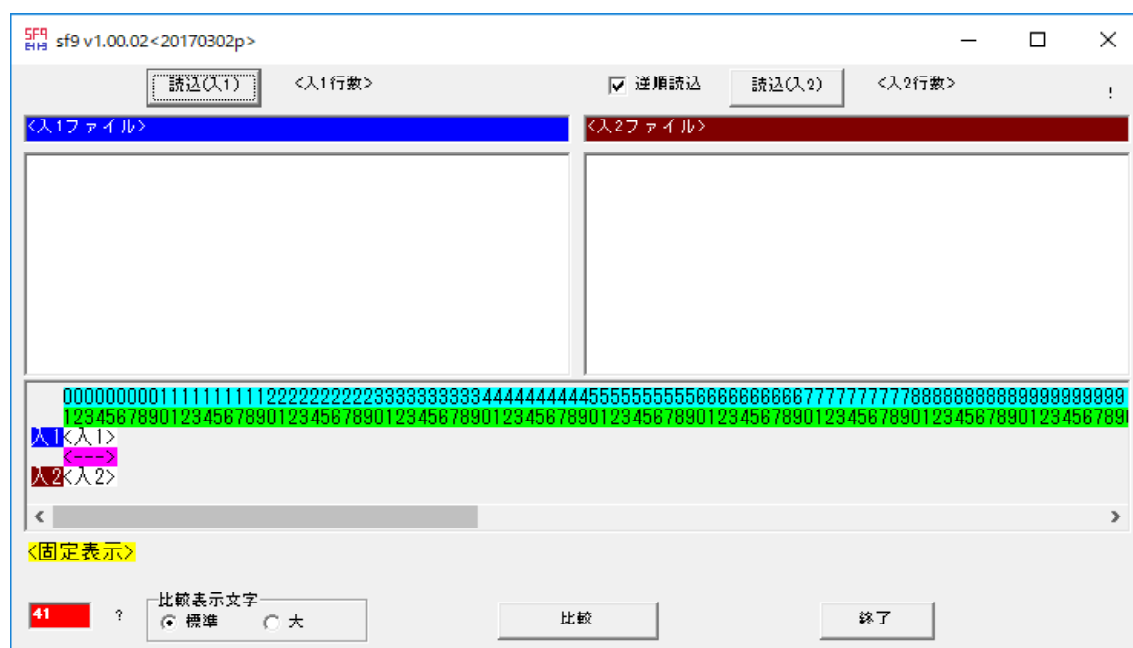
wncsf9.exe を起動し、比較対象を読み込む。

読込(入 1)で左枠

読込(入 2)で右枠

OMR データで 2 回目を読み込んだ場合は逆順になっているので逆順読込にチェックを入れてから読込(入 2)で読み込ませるとファイルの最終行から 1 行目になります。

比較ボタンをクリックすると同じ行を比較し不一致行のみ残します。



wncsf9.ini に以下の値を設定することによって各値を変更できます。

(変更した値を反映させるには wncsf9 終了し、もう一度 wncsf9 を起動します)

[SF9]

CMPSTOFS=41

IN2REV=1

P1ST=4

P1LEN=6

■意味

CMPSTOFS 比較を開始する位置を指定します (行頭からの位置)。41 の場合、行頭から 41 番目以降比較します。1 ~ 40 の間で食い違いがあっても比較の対象にしません。

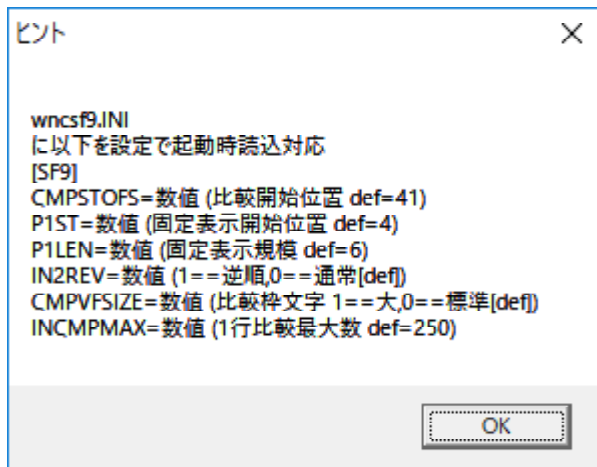
IN2REV=1 逆順読込のチェックを入れます。0 または空白時はチェックを入れません。

P1ST <固定表示>に表示する行頭からの位置を指定します。

P1LEN <固定表示>に表示する P1ST で指定した位置からの大きさを指定します。

P1ST=4 で P1LEN=6 の場合、4 番目から 6 文字分を<固定表示>に表示します。

?ボタンでヒントを表示します。
(wncsf9.ini に設定できる内容を表示)



def は指定しない場合使用される設定値です。
通したマークシートが1度目と2度目で順番が逆になる場合は
IN2REV=1
と指定しておくとう入2は読み込んだ直後逆ソートします。
(2度目も1度目と順番が同じになる場合は IN2REV=0 とするか定義を消去)

比較後残った不一致行は残っている行をクリックすると入1と入2で差のある部分に@文字が表示されます。

データを修正する機能はありませんので別途テキストエディタ等で開いて修正したあと保存する必要があります。

(修正後もう一度 wncsf9 で入1と入2を比較すると良いでしょう)